特定非営利活動法人草加市カヌー協会

草加パドラーズ

[会報第 206 号] 令和２年２月３日発行

□草加パドラーズ事務局 住所 草加市松江 2-4-16 □電話 048-931-3844

全体会／活動発表

海ごみゼロを強く訴える!

２月１日(土)「さいたま市民会館うらわ」で「川の再生交流会 2020」に県下 681 団体が参加し開催され、木村、古田、村田、松下、松永、中村、間宮、矢部、井坂、荻原、林、遠山、中島、相原の 14 名が、午後、大原、黒田陽、黒田温の３名が加わり、合計 17 名で参加しました。**第一部**で東京理科大学二瓶泰雄教授の講演と草加パドラーズの木村、間宮、米山ゼミの羽賀３名の活動発表で、私たちの取組を DVD にして「海ごみゼロ運動」を強く訴えました。昼休みのポスターセッションと午後の**第二部**分科会で５ブロックに分かれて情報交換をしてきました。今回は、環境省の海ごみゼロ運動に埼玉県も真正面から取り組む強い意志が伺えました。

草加市から石倉部長、古関課長さん２名も、この活動の重要性を理解して参加してくれました。

定例活動日

14名で浮遊ゴミ23袋回収

2月2日(日)、綾瀬川定例活動に、木村、古田、佐藤ご夫妻、梅田親子、大原親子、間宮、林、中島、田中、磯崎兄弟の14名で**ゴミ袋23袋分と丸太、材木、パネル**などを引上げました。木村会長は母船としてコールマンのカナディアンカヌーを、古田副会長はシットオンタイプのカヌーで出かけましたが、ゴミの量がとても多すぎて、母船に積みきれないほどでした。蒲生船着場へ上陸し休憩を取り再び戻りましたが、途中、ガマの自生地に長さ3m程の太い丸太を発見し、佐藤氏が紐で縛りけん引してきましたが、今回、その大きさと重量に負け、風間の船着場までとしました。しばらくの期間陸上へ放置して、乾燥させてから船着場まで運ぶ予定です。今後は、浮遊ゴミの量が多い時には、もう一回り大きなボートを出して、母船として使用できるように準備していきたいと考えています。松並橋側のオイルフェンスの浮遊ゴミは14名で頑張りましたが、

半分ほど残ってしまいました。後日、水曜日に再度出かけて全部拾い上げる予定です。

　現在、荻原氏が0.2tのヤマハボートを修繕中ですので、近々、船検を取得してゴミ拾いの母船として、また、足立区や越谷市、川口市との交流活動で機動力が発揮できるよう少しずつ改善して参ります。